

平成25年度 市議会モニター通信一覧 第1回

番号	A. 内容	B. 項目分類	通信内容	市議会回答
1	①提案	④議会広報等について (平成25年4月10日)	<p>・防府市市議会のホームページの「議員紹介」の「議員名簿」で、議員各位の顔写真と、住所などの連絡先が紹介されています。住民の代表として活動するためには、住民との交流や住民からの意見を幅広くタイムリーに聞くことも大切だと思います。そしてこの時期を逸せず意見を正確に交換する手段として、一般社会ではメールが既に大きな存在になっています。</p> <p>ところが、上記の議員各位の連絡先として、メールアドレスが記載されている方が一部のままだす。議員が住民からの意見を聞くためのアンテナを高くしているという、姿勢を示すためにも、メールアドレスや携帯電話番号などの連絡方法の記載が併せて必要であると思い、提案します。</p>	<p>・連絡先として、住所、電話番号、ファクス番号を公表しています。メールアドレス、携帯電話番号については、各議員の判断に委ねています。</p>
2	①提案	④議会広報等について (平成25年4月24日)	<p>市議会ホームページ上の「会議録」について</p> <p>・現在、最新のものから順番に掲載されていますが、それだけではなく、知りたい事柄から検索できるようなシステムがあればより良いと思います。キーワード検索ができれば、便利なだけでなく、それぞれの人が関心のある事柄から議会活動を知ることができるようになり、議会への理解も深まることと思います。他市でも取り入れているところがあると思いますので、いろいろ参考にされた上でご検討いただければと思います。</p>	<p>・会議録の検索システムについては、県内13市議会中11市議会がすでに導入されており、今後、導入を検討してまいります。</p>

3	①提 案	⑤議会・議員活動について (平成 25 年 5 月 16 日)	<p>・右田公民館での議会報告会(5月15日)に参加しました。その議会報告で、資料に基づく説明に加え、口頭で丁寧な補足説明をしておられ、背景などがわかり全体としては大変良いことと思いますが、参加者から、疑いを前提にした意見を抑え、建設的な提案が多く出るように、以下のような部分的な改善を提案します。</p> <p>①議会改革の取り組み:日経グローバルの評価項目は複数あると推察しますが、他市議会の視察受け入れ時に、評価点の高い項目を中心に関心や質問が集中し、日経グローバルの高評価を裏付けしているといった説明、また、相対的に日経グローバルの評価点が高い項目について、上越市に学ぶため講師を呼んで議員研修会を開いたといった説明、現状に満足することなく更なる改革を目指しているといった由の追加説明は、参加者の無駄な意見を抑制できると思います。</p> <p>②議員定数削減:議員のいない地域があることを反対の理由に上げていますが、見識を疑います。参加者からの無駄な意見を抑制するためにも、別の表現にすべきです。</p> <p>③山頭火ふるさと館の整備、また不当要求等防止対策委員会専門員で顕著ですが、「市長が……」の説明が出てきます。執行部対市議会と想っていた私には最初理解できませんでした。口頭説明で、主語や目的語を、市議会、市長を含む執行部、執行部、市長など使い分けて説明すると、異常さが解り易いと思います。執行部対市議会では、市議会は土地の代案がないのに反対ばかりしている印象になります。</p>	<p>・議会報告会での説明に対する改善の提案をありがとうございます。議会改革の取り組みに関するご提案は参考にさせていただきます。</p> <p>・議員定数削減については、削減反対の立場の議員が、「議員空白地区の拡大」を反対理由の1つとして述べたものであり、議会での審議経過を明らかにするために説明したもので、ご理解下さい。</p> <p>・議会(議員)が行政側を言う場合には、「市執行部」、「執行部」、「教育委員会」等の表現を使用しましたが、不当要求等防止対策委員会専門員では、市長の辞表提出がありましたので、「市長」という表現を使っています。また、山頭火ふるさと館の問題では、市長が主導して進められていることについて「市長が…」の表現を使用しました。今後、ご意見を参考に検討してまいります。</p>
---	------	------------------------------------	---	--

4	①提 案	①議会運営について (平成 25 年 5 月 17 日)	<p>・山頭火ふるさと館の話が出て以来、どのような館になるのか大変期待し、注目をしてきましたが、決まらないことに、またそれ以上に議案に上がるたびに、館の役割が縮小されることに失望をしています。期待する館から遠のく議論が続いた挙句何も決まらないことは、納税者の市民にとって大変不幸なことです。4、5年前にソラル敷地内に天体望遠鏡移設の案件は、議会で移転が決まったのに未だに実現されていません。市民が期待するものから規模が縮小したり、実現されない事の連続の結果が、一世帯あたりの、防府市の地方納税額は、山口県平均より9%多い(H11～H21平均)のに歳出額(公債費除く)は、山口県平均の79%(H11～H21平均)という気の毒な状態になっています。市長が悪い、議会が悪い、の底辺に防府の行政風土に原因があると感じています。この原因を特定し、対策を講じないことには、不幸な防府市民のままです。</p> <p>山頭火ふるさと館は、昨年9月以来3回も議会で議論されたのに建設が決まらない異常な事態の反省会を開くことを提案します。この反省会は責任転嫁や言い訳で終わりにならないように、メンバーの過半数は、第三者で、また防府市以外の人を多く含めること、また、山頭火ふるさと館はもちろんのこと、天体望遠鏡移設、ソルトアリーナ、ゴミ処理施設、向島運動公園など、税金の使い方について、防府市行政に特異な点はないか検証を目的にすることを提案します。</p>	<p>・山頭火ふるさと館については、整備予定地等に関して意見の対立があり、なかなか決まらないものです。事業そのものは、まだ進行形であり、引き続き議会と執行部での協議、さらには市民の意見も参考に組みんでいくものだと考えています。天体望遠鏡のソラル移設は、関係者の協議が整わなかったため、遅れているもので、ご理解下さい。</p> <p>・防府市は、産業都市として発展してきており、歳入に占める税の割合は高くなっています。他方、全国的に同レベルの行政水準を確保するために、税収の少ない自治体へは、地方交付税による財政分配が厚くおこなわれます。そのため、防府市の場合、ご指摘のように納付税額の割に歳出額が少なくなります。但し、税収が多い自治体はそれだけ財政的には豊かな自治体運営が進められます。</p> <p>・地方自治制度では、市長と市議会がともに直接市民によって選挙され、それぞれの職務権限について、各々が直接市民に対して責任を負うシステムであると言われています。議会は、市長その他の執行機関と独立・対等の機関として、相互に抑制的均衡と緊張関係を保ちながら、競い合い、協力し合うことが求められています。議会と執行部が様々な場面で協議をすすめ、合意を見出す取り組みは必要と考えますが、第三者の附属機関を設置することまでは考えておりません</p> <p>・ソルトアリーナ、ゴミ処理施設、向島運動公園については、決算審査の際に、事業内容をチェックしております。</p>
---	------	---------------------------------	---	---

5	②意見	④議会広報等について (平成 25 年 5 月 30 日)	<p>・ NO. 29 のほうふ市議会だよりについて 市民参加型のアンケートがあり、おまけに抽選でプレゼントもあるということ。どれだけの人が応募されるかわかりませんが、とてもよい企画だと思いました。プレゼントも幸せますグッズなのでほしい方も多いのでは。</p> <p>もっと議会に関心をもってもらうためには、1 回だけでなく、このような企画は続けていくとよいと思います。</p> <p>議会用語の解説もよかったです。</p> <p>表紙の写真のレイアウトの工夫があるともっとよかったですね。</p>	<p>・初めての取り組みでしたが、73 名の方からアンケートにご回答いただきました。幸せますグッズの提供は、防府商工会議所のご協力を頂き、感謝しております。今後も、このような企画を検討してまいります。</p> <p>・親しみやすく、わかりやすい議会だよりとするため、ご意見を参考に、今後も改善してまいります。</p>
6	②意見	⑤議会・議員活動について (平成 25 年 6 月 3 日)	<p>・山頭火ふるさと館建設の議案について 山頭火ふるさと館建設の議案は、一事不再議には抵触しないが、4 回程度上程され、その都度否決されている。場所とすれば、防府観光の中心である天満宮に近く、最適と思われるが、地形は細長く狭隘であることは否めない。半数強の議員が反対されることも仕方ないのかなとも思う。</p> <p>議会は、議会基本条例を制定・施行し、いろいろの改革に精力的に取り組んでいるおり、政策提言・立案機能や調整能力を高めることも大切なことと思う。</p> <p>そこで、私の意見だが、執行部との協議もなされているようにも見受けられるが、別途、議会自らが場所を選定し、建物の設計も行い、議員提案ができないか検討すべきであると思料する。</p>	<p>・議会には、予算を調整し、執行する権限がありませんので、議会自らが場所を選定し、建物の設計を行なうことは、出来ません。しかし、本会議で議案審議の際に、議員から、他の場所の方が良いのではないかと、2 つの土地について提言がされ、議会に設置された山頭火ふるさと館検討協議会において、執行部の比較検討結果が示されました。(執行部の検討結果は、これまでの兄部家の隣接地が良いとするものです。)</p>

7	①提 案	⑤議会・議員活動について (平成 25 年 6 月 20 日)	<p>6 月定例会の一般質問（6 月 1 2 日）を傍聴しました。国のレベルでは、大胆な金融政策、機動的な財政政策、民間投資を喚起する成長戦略という「3本の矢」で、経済再生を推し進めることで中長期の財政健全化を実現しようとしているし、県のレベルでは産業・観光力、人材力などの5つの力で、プライマリーバランスの適正化実現を目指し、民間委員 1 3 人を含む山口県産業戦略会議も開いています。</p> <p>このような国や県の活動に比較して、</p> <ul style="list-style-type: none"> * 市経済再生プランの公募や、山口大学との連携の今津議員の提案に対して、市長回答は庁内検討を優先させると回答しています。 * その庁内検討ですが、産業振興部長の答弁は、商工会議所が実施した事業のアンケート結果を報告するだけ、人材育成の責任者と思われる教育長は、議員の質問に応じる気配が全くなく、自分たちがいつまでに何をすべきかの活動目標になっていない、これが防府市の庁内検討の実情と推測できます。 <p>このような執行部の長年の活動姿勢の結果が、以下に断片的に示す防府市の現実の地盤沈下の原因になっていると思います。</p> <p>①一人当たりの生産性を、給与所得の源泉徴収義務者 1 件当たりの徴収税額（平成 1 1～2 2 年）の面から調べたものが表 1 ですが、防府市は広島税務署管内平均の 7 2 %に過ぎず、生産性の高い労働機会を増やすことと、対応できる労働者数を育成して増やすことが急務です。</p> <p>②働く人の立場を調べてみました。管理的、専門的・技術的職業従事者は新中間階層と呼ばれていますが、そ</p>	<p>・一般質問を傍聴してのご意見ありがとうございます。この内容を議員に伝えます。</p>
---	------	------------------------------------	--	---

			<p>の層の全就業者に占める割合を表2が示しています。平成22年の調査で防府市は14%で、山口県の他市と比較して低い。特に、専門的・技術的職業の比率は、宇部市の72%に過ぎず、進む知識基盤型社会に対応するために、事業の計画をし、問題を解決しながら推進をする層の育成に重点をおくことが急務です。</p> <p>③防府市の求人状況を調べたものが表3で減少傾向にあります。しかし職種により差があります。専門・技術職の充足率は24%に過ぎず、地域社会の求人要望に対応できる人材の育成に課題があることを示しています。</p> <p>紙面の都合で一部のみ紹介した防府市の実情は、誇り高い産業と文化都市とはほど遠いものと言えます。先日一般紙上で紹介された、防府市のふるさと納税額は、宇部市の3.5%に過ぎないことも、市行政への期待度に相関している可能性があります。表4に示すものは、防府市、山口県、日本国の、H14からH23にかけての地方税決算額ですが、私のこの表から、</p> <p>①防府市の（固定資産税+都市計画税）は国や県より多いが、市民税（個人分+法人分）は、全国平均の80%で山口県平均と同じ（100%）。</p> <p>②防府市の資産効率（市民税法人分/償却資産）は、全国平均の58%、山口県平均の95%、また収入に対する税負担（地方税総額/市民税個人分）は、全国平均113%、山口県平均の104%と分析しました。</p> <p>このことから山口県で最も広い平野や、一級河川の佐波川を持ち、温暖な気候の瀬戸内海に面し、地震の少ない天然の立地条件に恵まれ、そのため古来から栄えてきた防府の現状は、恵まれた立地条件を有効に活用して、生産性の高</p>	
--	--	--	---	--

		<p>い、付加価値の高い事業に仕上げる点において、全国平均、山口県平均に比較して、大きく見劣りし、努力が足りないことを示しています。是非、市議会が先頭に立って、経済格差拡大の負の連鎖を断ち切り、経済再生をする防府にしてもらいたいと思っています。そのために、経済再生や人材育成の検討の前に、まず、防府市の実情を正確に把握して、危機感を共有化することが大切であると思います。</p> <p>民間企業では、①確保すべき利益予測と目標があり、②その利益目標を生み出すための商品開発、設備、人員、福祉などの投資計画がある。一般家庭でも、①必要な収入見込みと目標があり、②その収入目標に対する対策計画や子供の教育、文化的生活のための計画が続く。</p> <p>市議会議員さんの皆さんが、まず防府市の歳入状況や経済状況を更に正確に把握されることを提案します。昨年11月の市議会選挙時に、各候補が考える「防府市政の最優先課題」が防府日報に掲載されていましたが、防府市の経済状況の共有化ができた後の、各議員が考える最優先課題は違ったものになるのではないかと推察します。必要であれば、上記の私の分析過程（容量が大きく添付はしていませんが、事前検討に必要であればメモリ媒体を持参します）をご説明します。</p> <p>是非ご検討下さい。</p>	
--	--	---	--

平成25年度 市議会モニター通信一覧 第2回

番号	A. 内容	B. 項目分類	通 信 内 容	市 議 会 回 答
8	②意見	③傍聴について (平成25年9月1日)	<p>先日、臨時議会を傍聴しました。その時、貸し出しの資料があったのですが受付でそのことが分からず、お借りすることができませんでした。その日は、傍聴人も多く、数に限りがあるのだろうと早合点してしまい、お尋ねしなかったのがいけなかったと思います。</p> <p>けれども、資料がある時はそれを分かりやすく示し、聞かれなくても受付で案内をする方が親切なのではないかと思いました。せっかく傍聴に来られるのですから、資料は基本的に皆さんに見ていただいた方が良くと思います。</p>	<p>受付時に、議案貸出希望の確認を徹底し、また、貸出用議案が10部あることについての表示をします。</p>

平成25年度 市議会モニター通信一覧 第3回

番号	A. 内容	B. 項目分類	通信内容	市議会回答
9	②意見	①議会運営について (平成25年11月1日)	<p>委員会を傍聴して感じる場合があります。執行部の出席は、部長以下となっているようですが、なぜ、最高責任者である市長（代理は副市長）の出席を求めないのですか。（予算委員会は、未傍聴ですが・・・）</p> <p>国会では、総理大臣の委員会出席を減らす動きもありますが、議会基本条例第10条第3項では、市長も委員会に出席できると読めますので、議題の中味によっては、市長の見解・考えを聞く必要があるのではと思います。</p>	<p>防府市議会では、本会議は市長以下部長級等までの出席を求め審議をしており、本会議での質疑だけでなく、さらに、こと細かく審査する必要があるものについて、常任委員会に付託する手続きをとっています。</p> <p>多岐にわたり、しかも専門化し、技術化していく地方公共団体の事務を合理的、能率的に調査し審議するために設けられた常任委員会では、付託された議案に、より精通する部長級以下の管理職の出席を求め、詳細について質疑等を行っているものです。</p> <p>なお、防府市議会委員会条例の規定では、議長を通じて市長等の出席を求めることができることとしており、昨年も市長に出席していただいたことがございます。</p> <p>したがって、審議の内容や経過により、常任委員長が適宜判断して対応していますので、御理解いただければと思います。</p> <p>※ 平成25年中の市長の委員会への出席 6月定例会：予算委員会 9月定例会：予算委員会 ”：予算委員会総務分科会</p>

1 0	①提 案	④議会広報等について (平成 25 年 11 月 1 日)	<p>現在、本会議の一般質問は、インターネット中継及び録画配信を行っていますが、これだけでは不十分と感じています。そこで、各委員会のインターネット中継及び録画配信を検討していただきたいと思います。</p> <p>そうすれば、市民は、委員会を通じて身近な施策の状況など行政の運営の現状把握ができ、ひいては、防府市参画及び協働の推進に関する条例に基づく市制への参画・協働がしやすくなるのではないのでしょうか。</p>	<p>委員会のインターネット中継及び録画配信については、議会改革推進協議会のメンバーから実施を検討すべきとの意見も出されておりますが、導入のための予算措置も必要であるため、現在、市議会では、会議録検索システムの導入を優先事項として取り組んでおります。</p> <p>しかしながら、委員会での審議内容を積極的に発信することは必要なことであり、委員会のインターネット中継及び録画配信については、委員会記録の公表とあわせて、今後の研究課題といたします。</p>
1 1	①提 案	⑤議会・議員活動について (平成 25 年 11 月 19 日)	<p>・議会報告会について</p> <p>11月の第2回議会報告会に参加しました。議会と市民との対話の場として、このような機会が設けられていることは、とても意義のあることだと思います。議員の方々は、市民の意見に対し真摯に耳を傾けておられ、市民と議会との距離は、決して遠いものではないと感じました。</p> <p>ただ、参加人数の少なさ、男女比、年齢層の偏りが気になりました。多様な意見を直接聴取する場としては、まだまだ足りないと思います。かといって、どこから動員し、数を揃えるというようなことがあってもいけないので、この取り組みが定着するまでは、なかなか難しいこともあると思います。是非、案内・周知の仕方を工夫して、継続して行ってほしいと思います。</p> <p>提案としては、報告会の資料を事前にホームページ等で見られるようにしてはいかがでしょうか。それによって、足を運んでみようと思われる方があればよいですし、参加する方としても予習できれば、質問・意見を準備することもでき、より理解も深まることと思います。</p>	<p>議会活動に関する情報を積極的に発信する場、議会と市民との対話の場として、議会報告会の取り組みを評価いただきありがとうございます。</p> <p>11月の議会報告会は、今年度2回目となるためか、参加人数は、これまで3度開催した5月の議会報告会(平均30人弱)の5割強であり、いくぶん少ない人数となりました。しかし、参加人数は会場によってバラツキもあり、また女性や若い世代が少ないことなど、参加者を増やす工夫が必要と考えております。</p> <p>ご提案の議会報告会の資料を事前にホームページに掲載し、誰でも見ることが出来るように工夫することは可能であり、今後は資料を事前にホームページで公開するように取り組んでまいります。ただし、資料の準備等のため、ホームページへの掲載は、議会報告会が始まる直前となることをご理解下さい。</p>

1 2	②意見	⑥その他 (平成 26 年 1 月 17 日)	<p>・ニューイヤーコンサートの感想です</p> <p>議場を会場にして行われたニューイヤーコンサートに参加させていただきました。</p> <p>県内でも初の試みで、議場の座席がそのまま客席に使用されており、その中で美しい音楽に耳を傾けるひとはたいへん良いものでした。議場は、市民が普段足を踏み入れることのない場所であり、そこを開放することは、市民の中にある議会の「敷居」を低くする効果があったと思います。おそらく、初めて議会棟に入られたという方もあったのではないのでしょうか。</p> <p>やはり、「開かれた議会」といっても、ただ開いているというだけでは十分でなく、議会から市民への働きかけが必要ですし、市民も受身なだけでなく、実際に足を運ぶ、参加するということが無ければ、「協働」も成り立たない事を思わされました。今回は、コンサートという機会でしたが、そうした双方の働きかけと応答が、自然に機能するよう、今後とも様々な機会を捉えていって頂けたらと思います。</p>	<p>防府音楽祭街角コンサートの議場での開催は、市民の方に議会に足を運んでいただくきっかけになることも願ってのものでしたが、約150人の方にご参加いただき、また、議場の音響もよく、成功裏に終わることができました。今後も、市民に開かれた議会とするため、様々な取り組みを検討してまいります。</p>
-----	-----	----------------------------	---	---